

令和 6 年度第 1 回 高知がん診療連携協議会 放射線治療部会 議事要旨

1. 日 時 令和 6 年 6 月 10 日 (月) 18 : 30 ~ 19 : 10
2. 開催方式 オンライン形式 (Zoom)
3. 出席者 : (敬称略) 木村、坪井、前田、中谷、川内、森木
欠席者 : 西岡、塩田

【配付資料】

- ・資料 1 令和 6 年度 活動計画について
- ・資料 2 緩和的放射線治療 Q I
- ・資料 3 放射線治療部会 令和 5 年度講演会結果

【議題】

1. 高知がん診療連携協議会ホームページの更新について
2. 令和 6 年度 活動計画について
3. 令和 6 年度 講演会について

【報告事項】

1. 高知がん診療連携協議会ホームページの更新について

事務局嶋津から高知がん診療連携協議会のホームページの更新及び放射線治療部会掲載箇所についての説明が行われた。

2. 令和 6 年度 活動計画について

三本 (高知大学医学部附属病院看護師) から資料 1、木村部会長から資料 2 について説明が行われた。前田委員から、骨転移に伴う脊髄圧迫が休日に生じた場合、紹介できる施設の掲載が必要と意見があった。木村部会長から、対応可能な施設で休日の緊急緩和的照射の当番制などを検討していきたいとの回答があり、今後放射線治療実施施設と協働して取り組んでいくことを計画していく。緩和的放射線治療 QI については、入力フォーマットを作成し、各施設へ案内を行い、年度毎にデータをまとめることにより緩和照射の体制整備の指標にしていく。

3. 令和 6 年度 講演会について

木村部会長から資料 3 について報告が行われた。令和 6 年度の講演会は、「緩和照射」をテーマに第 1 回は県外から緩和照射のエキスパートを招聘、第 2 回は放射線治療実施施設と連携を行っている医療機関での実施の提案があった。前田委員からは、緩和的照射の中でも、骨転移に特化した講演会があれば、様々な職種において知識の整理になるのではないかと意見があり、今後検討していく。

全体を通して、川内委員から緩和ケア部会との情報共有や講演会開催時には、緩和ケアに携わる医師への周知依頼があった。

- 【情報提供】木村部会長から、中国・四国広域がんプロ養成コンソーシアムインテンシブコースで緩和放射線治療医の養成を目的とし、今年度に 10 回の講義を実施することについて説明があった。

令和 6 年度第 2 回 放射線治療部会は、11 月の講演会と同時開催を計画予定

令和 6 年度第 2 回 高知がん診療連携協議会 放射線治療部会 議事要旨

1. 日 時 令和 7 年 1 月 30 日 (木) 18 : 00~18 : 22
2. 開催方式 オンライン形式 (Zoom)
3. 出席者 : (敬称略) 木村、西岡、前田、中谷、川内、森木
欠席者 : 塩田

【配付資料】

- 資料 1 高知県内の緊急緩和照射体制について
- 資料 1-2 転移性脊髄圧迫に対する緊急照射のご案内
- 資料 2 QI 評価 : 高知大学医学部附属病院
- 資料 3 令和 6 年度講演会 第 3 回講演会報告
・チラシ 第 3 回、第 4 回
- 資料 4 令和 7 年度活動計画 (案)

【議題】

1. 令和 6 年度 活動計画について (緩和的照射の体制整備、QI 評価)
2. 令和 6 年度 講演会について
3. 令和 7 年度 活動計画について

議事内容

1. 令和 6 年度活動計画について

資料 1: 高知県内の緊急緩和照射体制について 木村部会長より、都道府県がん診療連携拠点病院の要件にある「緊急緩和照射の体制整備」について以下の説明があった。

- ・緩和照射は、高知大学医学部附属病院、高知医療センター、高知赤十字病院の 3 施設で実施。
- ・緊急を要する脊髄圧迫については、3 施設で輪番制対応を実施。
- ・フローチャートを用いた説明。

また、新たに構築した輪番制について、医療機関向け案内チラシ(資料 1-2)について説明。相談窓口施設はカレンダー形式で案内する。

QI 評価について 放射線治療科の植田医師より、資料 2 に基づき以下の説明があった。

- ・日本放射線腫瘍学会(JASTRO)の QI(Quality Indicator)評価は、放射線治療の質向上を目的とした評価制度。
- ・本学医学部附属病院では 2023 年度、脊髄圧迫患者へのステロイド併用が少なく、脳転移に対する全身状態評価が不足していた。
- ・2024 年度、2025 年度はこれらの項目を改善。

木村部会長より、QI 評価の客観性とその活用について言及。高知医療センターでも QI 評価を実施することで、放射線治療の質向上を目指すことが確認された。

2. 令和 6 年度の講演会について

木村部会長より、資料 3 に基づき、第 3 回および第 4 回の講演会報告が行われた。

次年度も 2 回の講演会を予定。

- ・1 回目(11 月頃): 外部講師を招聘し講演会を開催。
 - ・2 回目: 高知県東部地域(高知県立あき病院)で開催を検討。
- 前田委員より、あき病院と田野病院の合同開催を提案。

広報活動について 前田委員より、緩和的照射の広報および放射線技師への周知依頼があった。

- ・木村部会長より、緩和的照射が多い病院を個別訪問し、説明予定であることを報告。
- ・メディアを活用した広報活動も検討。
- ・放射線技師への周知の強化を検討。

三本看護師より広報活動の補足

- ・大学病院の広報パンフレットを県内の医療機関へ郵送する際に、「緊急照射」の案内チラシを同封し、周知を図る。
- ・医療者向けだけでなく、市民公開講座などを活用し、市民・患者向けの広報活動を実施予定。

3. 令和 7 年度活動計画について

資料 4 に基づき、令和 7 年度の活動について説明。

- ・ 令和 6 年度と同様の活動内容で実施予定。
- ・ 活動計画の詳細は、今後具体的に調整予定。

高知県内の緊急緩和照射体制について 資料8-3

〔背景〕

都道府県がん診療連携拠点病院の要件 (令和4年8月1日厚生労働省健康局長通知)
協議会の設置を行い都道府県全体のがん医療等の質の向上のため、次に掲げる事項を行い、県内のどこに住んでいても適切な診断や治療にスムーズにアクセスできる体制を確保すること。とくに必須とされているものに「**緊急緩和照射の体制整備**」があがっている。



地域がん診療連携拠点病院の指定要件について

《2. 診療体制-(1)診療機能》③緩和ケアの提供体制

コ. 疼痛緩和のための専門的な治療の提供体制

ii. 緩和的放射線治療を患者に提供できる体制を整備すること。また自施設の診療従事者に対し、緩和的放射線治療の院内での連携体制について周知していることに加え、連携する医療機関に対し、患者の受入れ等について周知していること。さらに、ホームページ等で、自施設におけるこれらの実施体制等について分かりやすく公表していること。

このような背景から、県内の緩和照射の体制を3施設(高知大学医学部附属病院、高知医療センター、高知赤十字病院)で実施することとした。

緊急を要する脊髄圧迫例についてフローチャート作成を行い輪番とする(下図)。
それ以外の緩和照射が必要な症例については各施設現行通りで対応していく。

輪番について

金曜・祝前夜間～日・祝日日中

高知大学医学部附属病院 第1・3週

高知医療センター 第2・5週

高知赤十字病院 第4週

受け入れ患者について

* 搬送先の医療機関で照射を検討
(搬送先が輪番でない場合、輪番へ相談可能)

* 各施設受診後に整形外科へ相談
(受診前の相談は必須にしない)

転移性骨腫瘍の脊髄圧迫による麻痺の診断

(他疾患除外、脊椎MRI)

輪番病院へ相談

・デカドロン投与推奨

翌日日中搬送

・放射線治療実施

翌平日、依頼元へ転院

相談後の対応は、
各施設の予約外患者の対応に
準じて実施

転移性脊髄圧迫に対する 緊急照射のご案内

資料8-4

-医療機関のみなさまへ-

このたび転移性脊髄圧迫に対して、週末・連休中も放射線治療ができるように3施設（高知大学医学部附属病院、高知医療センター、高知赤十字病院）で輪番制で対応することとしました。以下を参考に、ご相談ください。

転移性脊髄圧迫とは

脊椎・脊髄腫瘍が脊髄を圧迫し、疼痛・脊髄神経障害を起こす病態のことで、症状出現から数時間で麻痺が完成する場合があります、発症後24時間以内の治療が勧められます。

注意すべき症状

- ・強い苦痛を伴う、これまでの痛みとは異なる、脊椎の一部（特に脊椎上部や頸部）の背部痛
- ・物を持ち上げたりするときに体勢によって変化したり、夜間覚醒や不眠の原因となるような、だんだん強くなる脊椎の強い痛み
- ・脊椎で始まり、胸や腹部に拡がる痛み
- ・脚や腕に走るしびれや痛み
- ・新たに生じた腕や脚の巧緻運動障害・脱力感、歩行困難
- ・膀胱直腸障害

参考文献：骨転移診療ガイドライン改訂第2版



診断から搬送の流れ

転移性骨腫瘍の脊髄圧迫による麻痺の診断
(他疾患除外)



輪番病院へ電話相談

基本的に対応は、翌日中となります。

それまでは、「デカドロン」を投与してください。



輪番病院へ搬送

放射線治療実施/入院 翌平日には、依頼元へ転院予定

輪番について 金曜・祝前夜間～日・祝日日中

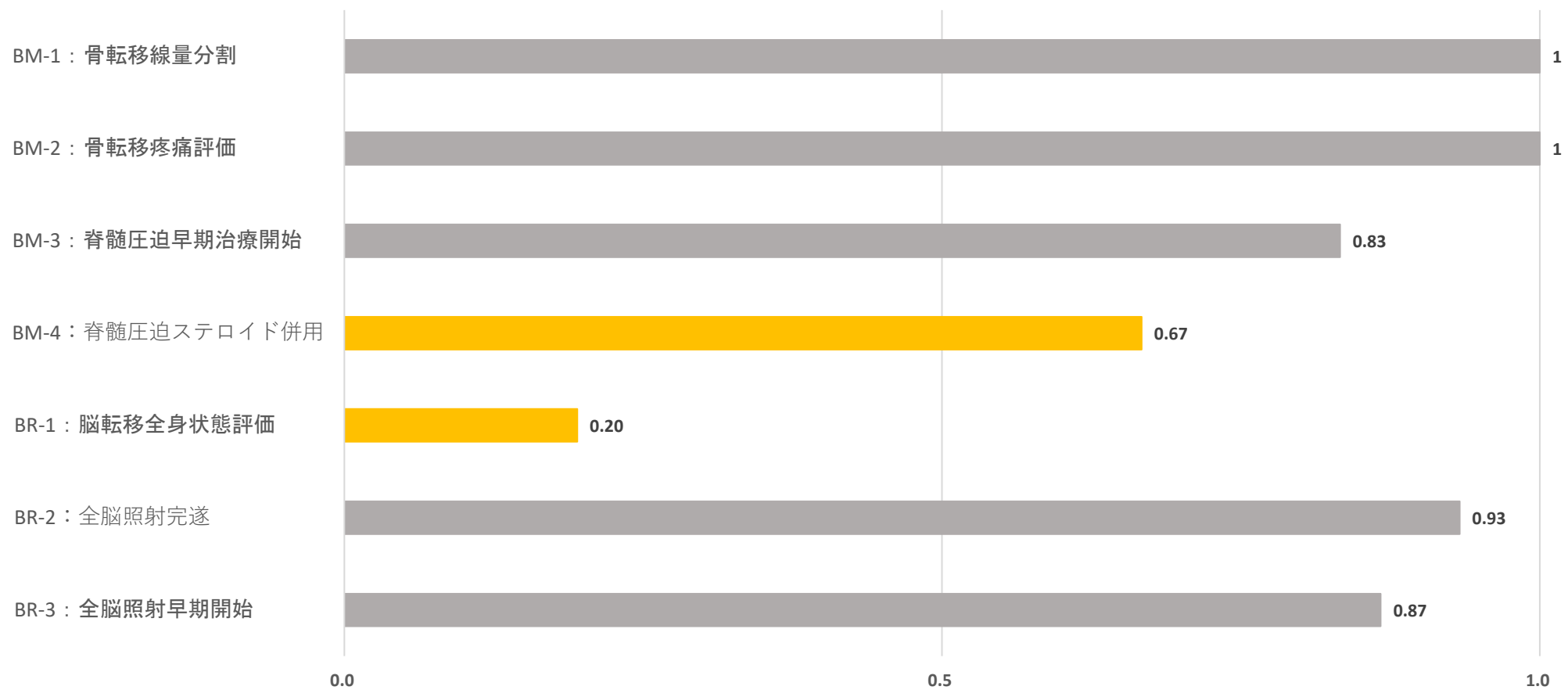
施設名		連絡先	
高知大学医学部附属病院	第1・3週	時間外受付	088-866-5815
高知医療センター	第2・5週	代表	088-837-3000
高知赤十字病院	第4週	代表	088-822-1201

QI評価：高知大学医学部附属病院

-2023年4月1日から2024年3月31日-

資料8-5

Quality Indicatorの測定値



■対象

骨転移77件（脊髄圧迫6件）、脳転移41件（全脳照射15件）

■結果

- ・ BM-1「適切な線量分割の選択」 1.0（77/77件）
- ・ BM-2「治療前の疼痛評価の実施」 1.0（77/77件）
- ・ BM-3「脊髄圧迫に対する早期治療開始」 0.83（5/6件）
- ・ **BM-4「脊髄圧迫に対する放射線治療へのステロイドの併用」 0.67（4/6件）**
- ・ **BR-1「治療前の全身状態評価の実施」 0.20（8/41件）**
- ・ BR-2「全脳照射の完遂」 0.93（14/15件）
- ・ BR-3「全脳照射の速やかな開始」 0.87（13/15件）

■評価

- ・ BM-4について

実施していなかった2件とも整形外科も対応しており、また1件は骨転移ボードでも治療方針が検討されていた。ステロイド使用の必要性の周知と放射線治療科での処方徹底を心がけていく。

- ・ BR-1について

診療録記載がなくても、多職種カンファレンスで治療方針を検討しているため、全身状態を考慮していることは予想できるが、診療録記載も根拠として徹底して記載を行っていく。

脳転移はDS-GPAとあわせてテンプレート入力を検討する。

高知がん診療連携協議会放射線治療部会/第3回講演会

テーマ：緩和的放射線治療の上手な使い方

講師：中村直樹（聖マリアンナ医科大学 放射線治療科 教授）

日時：令和6年11月30日 14時00分～15時30分

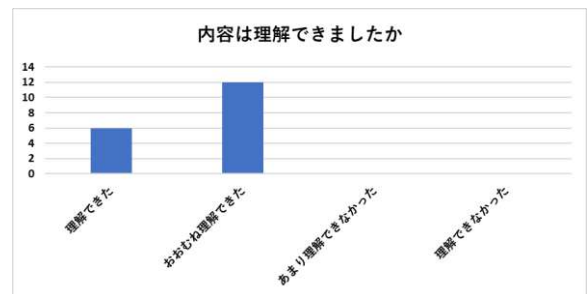
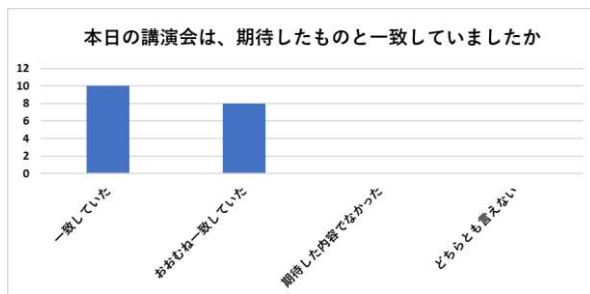
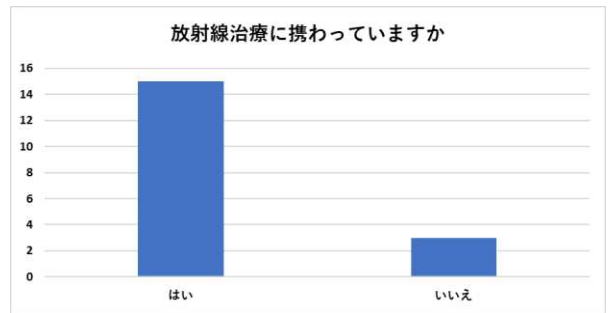
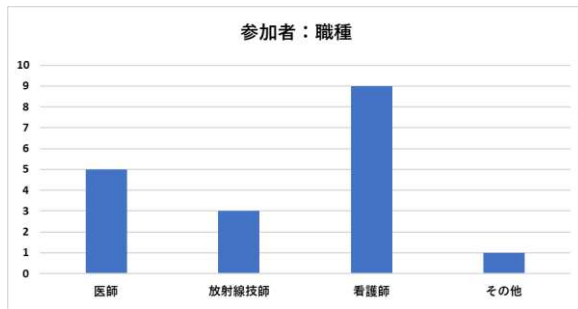
場所：ちより街テラス3階 会議室1・2（現地+WEB）

対象者：放射線治療や緩和ケアに携わる医療従事者

《参加者》

参加者：36名（現地：12名 WEB：24名）

アンケート回答者：18名



放射線治療をされていると回答された方で、対応でお困りのことがあれば教えてください。
 緩和照射の評価方法について分からなかったので、勉強になりました。
 放射線治療を長期に実施すると、皮膚障害が出てきますが
 対応としては早期から軟膏の塗布が有効なのか
 骨転移の照射で、疼痛が強い場合の体位保持
 通院

本日の講演会へのご意見、感想などご自由にお書き下さい。

看護師でも非常に分かりやすい研修でした。

非常にわかりやすく、明日からの診療に役立つ内容でした。

本日は素晴らしい講義ありがとうございました。訪問看護師として働く中で、癌の末期患者さんが緩和的放射線治療にて、疼痛緩和が図れ、歩行が可能となり、QOLが顕著に向上する様子を目の当たりにし今回の講演に興味を持ち参加させていただきました。実際会場まで足を運び直接先生のお話を伺って、患者さんのQOLを大切に治療されていることがうかがえ、同じ気持ちで看護に当たりたいと感じています。職場で本日の学びを他のスタッフと共有させていただきます。ありがとうございました。

当院には放射線治療科がないため、拠点病院に放射線治療をお願いしています。そのため、単回照射が主流になると、その分ストップしている治療の開始が早められるので患者さんにとってメリットが大きいと思いました。

緩和照射について、新しい知見が得られ、おもしろかったです。

とてもわかりやすかった

内容が盛りだくさんでしたが、満足できる内容でした。

主催：高知大学（高知がん診療連携協議会放射線治療部会）

協賛：株式会社 日立ハイテク

共催：第9回高知県放射線治療研究会

資料8-7

高知がん診療連携協議会 第3回 放射線治療部会 講演会

本講演会は、放射線治療に関する知識の向上、高知県内の放射線治療提供体制の強化を目的とし、放射線治療に携わる医療従事者の皆様を対象に開催いたします。

「緩和的放射線治療の 上手な使い方」

講師 聖マリアンナ医科大学 放射線治療科 教授

中村 直樹 先生

座長 高知大学医学部 放射線腫瘍学講座

木村 智樹 先生

日時： 令和6年 11月30日（土） 14：00～15：30

場所： ハイブリット形式（現地開催+WEB）
現地会場 ちより街テラス 3階 会議室1・2
（高知市知寄町2丁目1番37号）

対象： 放射線治療や緩和ケアに携わる医療従事者

■WEB申込方法■

申込は①または②のいずれかの方法でお願いいたします（申込締切り：11月22日（金））

①右記、QRコードを読み取り必要事項を入力してください。

②メールで申込「1130WEB講演会参加申込」、本文に氏名、所属、職種を入力の上、メール（ir23@kochi-u.ac.jp）に返信してください。

WEB（Zoom）での参加の方には、11月27日（水）までに、招待メールを送信いたします。

招待メールが届かない場合は、お手数ですが下記までお問い合わせ下さい。

■問合せ先■

高知大学医学部・病院事務部 医事課拠点病院管理係 岡村・溝淵

TEL：088-888-0316（9：00～17：00/土日祝日休業）



第4回 放射線治療部会 講演会

本講演会は、放射線治療に関する知識の向上、高知県内の放射線治療提供体制の強化を目的とし、放射線治療に携わる医療従事者の皆様を対象に開催いたします。

頭頸部領域における 放射線治療

《座長》西岡 明人先生

（高知県・高知市病院企業団立高知医療センター副院長 がんセンター長/放射線療法科長）

《18：30-19：00》 講師：植田 太郎 先生

（高知大学医学部附属病院 放射線腫瘍学講座 特任助教）

有害事象の低減を目指した放射線治療

《19：00-19：30》 講師：前川 真弥 先生

（高知県・高知市病院企業団立高知医療センター がん放射線療法看護認定看護師）

治療プロセスにそった有害事象マネジメント -エビデンスに基づいたケアと工夫-

日時

令和7年 2月26日（水）18：30～19：30

場所

現地会場 高知城ホール 大会議室

（高知県高知市丸ノ内二丁目1番10号）

ハイブリット形式（現地開催+WEB）

対象

放射線治療に関心のある医療従事者

申込方法

申込は①または②のいずれかの方法でお願いいたします。（申込締切り：2月19日（水））

①右記、QRコードを読み取り必要事項を入力してください。

②メールタイトルは「0226講演会参加申込」とし、本文に氏名、所属（施設名）、職種、参加形式を入力の上、メール（ir23@kochi-u.ac.jp）で送信してください。

WEB（Zoom）でご参加の方には、2月21日（金）までには、招待メールを送信いたします。招待メールが届かない場合は、お手数ですが下記までお問い合わせください。

申込
お問合せ

高知大学医学部・病院事務部医事課 拠点病院管理係 溝淵・岡村
TEL：088-888-0316（平日9：00～17：00）



小児がんの拠点協力病院及び小児がん医療提供体制協議会の活動報告

1. ネットワーク会議・カンファレンス

- ① 中国四国小児がんネットワーク会議：小児血液・がん担当医師 3 名
年 9 回開催（5 月、8 月、12 月は休会。2 月は広島大学病院で開催。）
- ② 小児がん看護ネットワークカンファレンス：看護師 2-3 名
年 9 回開催（6 月、10 月、12 月は休会）

2. セミナー、研修会

- ① 医師対象
小児血液・がんセミナー in 中四国（2025 年 2 月 1 日）
Web 講演会（2024 年 5 月 22 日、10 月 23 日、2025 年 3 月 26 日予定）
小児医療に携わる医師に対する緩和ケア研修会（2024 年 8 月 3 日、11 月 30 日、
2025 年 3 月 8 日予定）
- ② 看護師対象
中国・四国ブロック小児がん看護研修会（2024 年 10 月 4 日）
- ③ 医師・看護師対象
小児・AYA 世代のがんの長期フォローアップに関する研修会（2024 年 10 月 26 日、
2025 年 1 月 11 日、2 月 1 日予定）
アドバンス研修会（2025 年 3 月 15 日予定）

3. その他

- ① 小児がん相談員研修会（2024 年 12 月 25 日）
- ② 中国・四国小児がんネットワーク会議相談支援部会（6 月、12 月に開催）

4. 今後の活動・課題

- ① ネットワーク会議・カンファレンス、セミナー、研修会などの継続
- ② 小児がんサバイバーの長期フォローアップと移行期医療
- ③ ICT 技術を活用した復学支援・教育支援 — 特に、小児がんの高校生の教育支援
- ④ 小児がん患者における終末期在宅医療の取り組み

小児がん中国・四国ネットワーク会議

第 108 回 2024/4/24

- 5/22web講演会について
- 小児がん全国登録について
- 小児医療に携わる医療従事者を対象にしたアンケートについて
- 症例検討（高知大学医学部附属病院）

第 109 回 2024/6/26

- 中国・四国ブロック小児がん相談支援部会報告
- 今年度LCAS研修会について
- IF-21（乳児白血病国際共同試験）、BLIN-B-ALL（B-ALL 中間リスクに対するブリナツモマブ治験）の案内
- 症例検討（高知医療センター）

第 110 回 2024/7/24

- 第 20 回小児がん拠点病院連絡協議会（7/9）報告
- 症例検討（島根大学医学部附属病院）

第 111 回 2024/9/25

- 小児がん連携病院の現況報告書及び小児がん診療施設情報公開資料の作成について
- 小児がん web 講演会（10/23）について
- 症例検討（愛媛大学医学部附属病院）

第 112 回 2024/10/23

- 小児がん連携病院の継続指定について

第 113 回 2024/11/27

- 今後のネットワーク会議開催予定について
- 症例検討（松山赤十字病院）

第 114 回 2025/1/8

- 次回のネットワーク会議（中国・四国ブロック連絡協議会）について
- 各連携病院に貸与中のパソコンについて
- 症例検討（愛媛県立中央病院）

第 115 回 2025/2/1 広島大学病院で開催

- 第 21 回 小児がん拠点病院連絡協議会 (2025. 1. 29) 報告
- 小児がん中国・四国ネットワーク会議検討事項
- 看護カンファレンスおよび相談支援部会検討事項
- 小児がん看護研修会について
- 小児がん相談員研修について
- 医療機関・各県がん対策担当部署・患者会等との連携について

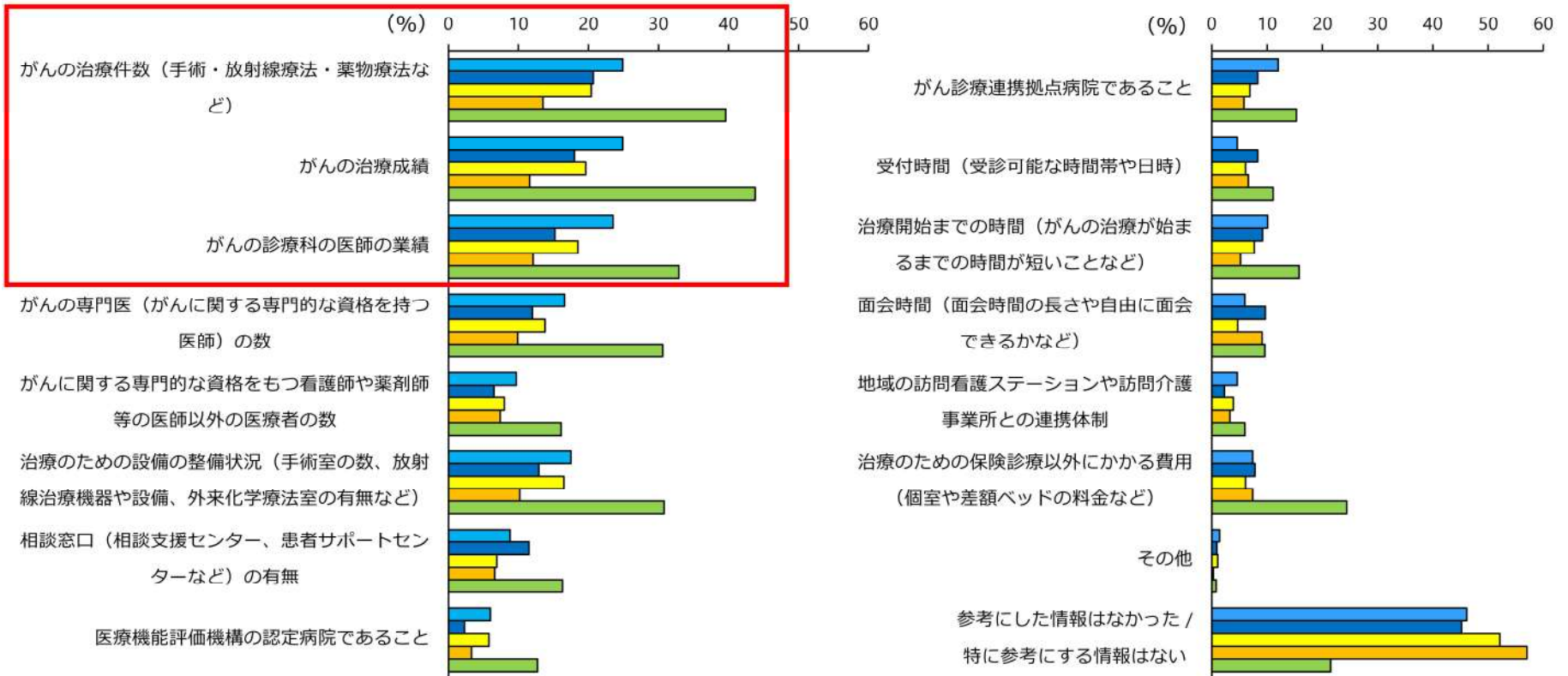
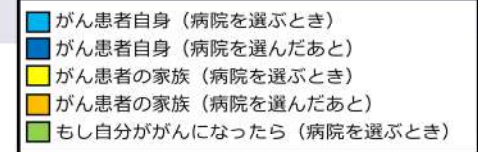
第 116 回 2024/3/26

高知県がんポータルサイトへの がん治療成績等の掲載について

がん患者とその家族及び一般市民ががん治療病院選択にあたって求める情報に関する調査研究

- 厚生労働科学研究の報告書によると、民間調査会社の登録モニター856人（がん患者とその家族及び一般市民）を対象にした調査で、「がんの治療件数」「がんの治療成績」「がんの診療科の医師の業績」という情報が求められている。

がん治療病院選択にあたって参考にした情報



出典：厚生労働科学研究 がん診療連携拠点病院等における情報提供の適切な方法・項目の確立に資する研究報告書（令和5年度）を用いて、厚生労働省健康・生活衛生局がん・疾病対策課において作成

一元化した病院情報のニーズに係るがん情報サービス利用者の声

- ・ 国立がん研究センターの分析によると、がん情報サービス利用者からは、「病院ごとに実施可能な治療・症例数・治療成績」、「がん種別の実施可能な治療法・実績」、「専門病院や受け入れ状況」等に関する情報のニーズがあると考えられた。また、各地域別・病院別のQIを一元的に確認できるリソースのニーズがあると考えられた。

方法

- ・ 国立がん研究センターががん情報サービス利用者を対象に実施した「ポップアップアンケート」（実施年度：令和3年度、令和4年度、令和6年度 ※令和5年度は実施せず）及びがん情報サービス上に常時開設している「常設アンケート」の自由記述（令和3年7月～令和6年9月）（自由回答総数3,845件）から、病院を選ぶ際に求める情報が具体的に書かれている記述を抽出、整理した。

分析結果

- ・ がん情報サービス利用者には、「病院ごとに実施可能な治療・症例数・治療成績」、「がん種別の実施可能な治療法・実績」、「専門病院や受け入れ状況」等に関する情報のニーズがあると考えられた。
- ・ 自由記述には「各県ごとの」「病院一覧」「病院リスト」「各病院の」等の記述が見受けられ、各地域別・病院別のQIを一元的に確認できるリソースのニーズがあると考えられた。

Quality Indicator(QI)研究 (医療の質の見える化)

【背景】

がん医療の実態を評価する体制が求められてきた

がん診療均てん化のための
臨床情報データベース構築と活用に関する研究

- QI→プロセス指標 (標準診療実施率)

$$\text{標準診療実施率} = \frac{\text{標準診療を受けた患者数}}{\text{標準診療の適応となる患者数}}$$

【目的】

- 標準診療実施率を全国の拠点病院等で測定することにより、
 - がん診療の質の向上につなげる
各参加施設へのフィードバック
診療ガイドラインの資料(アンケートの補完) など
 - がん対策に役立てる
標準診療実施率の地域や病院種別による分布 など

【方法】

- 参加同意のある施設から、対象診断年症例のDPCデータを収集し、
国立がん研究センターで院内がん登録全国収集データと結合して解析

【結果】

*継続QI：QI研究開始当初から測定されている項目

- 継続QI*は一般公開、臓器別QIは参加施設と希望のある都道府県担当者に還元

「病院ごとのQIの見える化の要望」に関わるがん情報サービス 利用者の声(1)

概要

がん情報サービス利用者アンケートの自由記述から「病院ごとのQIの見える化の要望」にかかわる内容を抽出・整理した

分析対象データ

①がん情報サービスポップアップアンケート（実施年度：2021、2022、2024 ※2023年度は実施せず）

「がん情報サービスへのご意見・ご要望がありましたら、ご自由にお書きください」への自由記述

*2021・2022年度は、厚生労働科学研究費「科学的根拠に基づくがん情報の迅速な作成と提供のための体制整備のあり方に関する研究（20EA1008）」で実施

②がん情報サービス常設アンケート（2021年7月～2024年9月収集）

「手に入らなかった情報を具体的にお書きください」への自由記述

表. 分析対象データ

	アンケート 回答総数	自由回答総数	「病院」を含む 自由回答総数	分析対象
2021年度	1,914	821	43	6
2022年度	632	165	11	4
2024年度	1,989	434	19	5
常設アンケート	8,448	2,425	127	24
総計	12,983	3,845	200	39

分析方法 ①②ともに下記の手順で、国立がん研究センターがん対策研究所が実施した

- ・ 「病院」を含む自由記述を抽出
- ・ 抽出した自由記述を確認し、患者が病院を選ぶ際に求める情報が具体的に書かれていると考えられるものを選定
- ・ 選定した自由記述を意味内容に沿って整理し、カテゴリ化

「病院ごとのQIの見える化の要望」に関わるがん情報サービス 利用者の声(2)

分析結果 ※1件は複数の要素を含んでいたため、2つのカテゴリに分類。自由回答の例は、表記を一部変更して記載。

①実施可能な治療・症例数・治療成績などに関する情報（12件）

- A：実施可能な検査・治療 「遺伝子パネル検査を実施している病院」「保険を使った免疫療法を行える病院」
B：実績 「各県ごとの専門の病院や手術実績（成功例ではありません）などがわかると良い」「病院の手術数」
C：診療科（専門医）や症例数「病院名と並んで症例数や専門医の有無がページを切り替えることなく見られると良い」

②がん種別の実施可能な治療法・実績に関する情報（10件）

- 「治療成績が病院によって偏りがあるため、罹患部位に対する手術件数トップ10の病院一覧がほしい。得意な治療、特色の記載が欲しい」
「希少がんの治療実績(どこの病院で、どんな患者がいて、どういう治療をして、予後はどうだったか)という情報がなかった」

③専門病院や受け入れ状況に関する情報（7件） 「住んでいる地域に限らず受け入れてくれる病院」

④治療の副作用／晩期合併症の治療やフォローアップが可能な病院の情報（4件）

- 「自分の家の近くに有るリンパ浮腫に詳しい病院が有ればと思っていたが見つけれませんでした」

⑤緩和ケアを受けられる病院や具体的なケア内容に関する情報（4件）

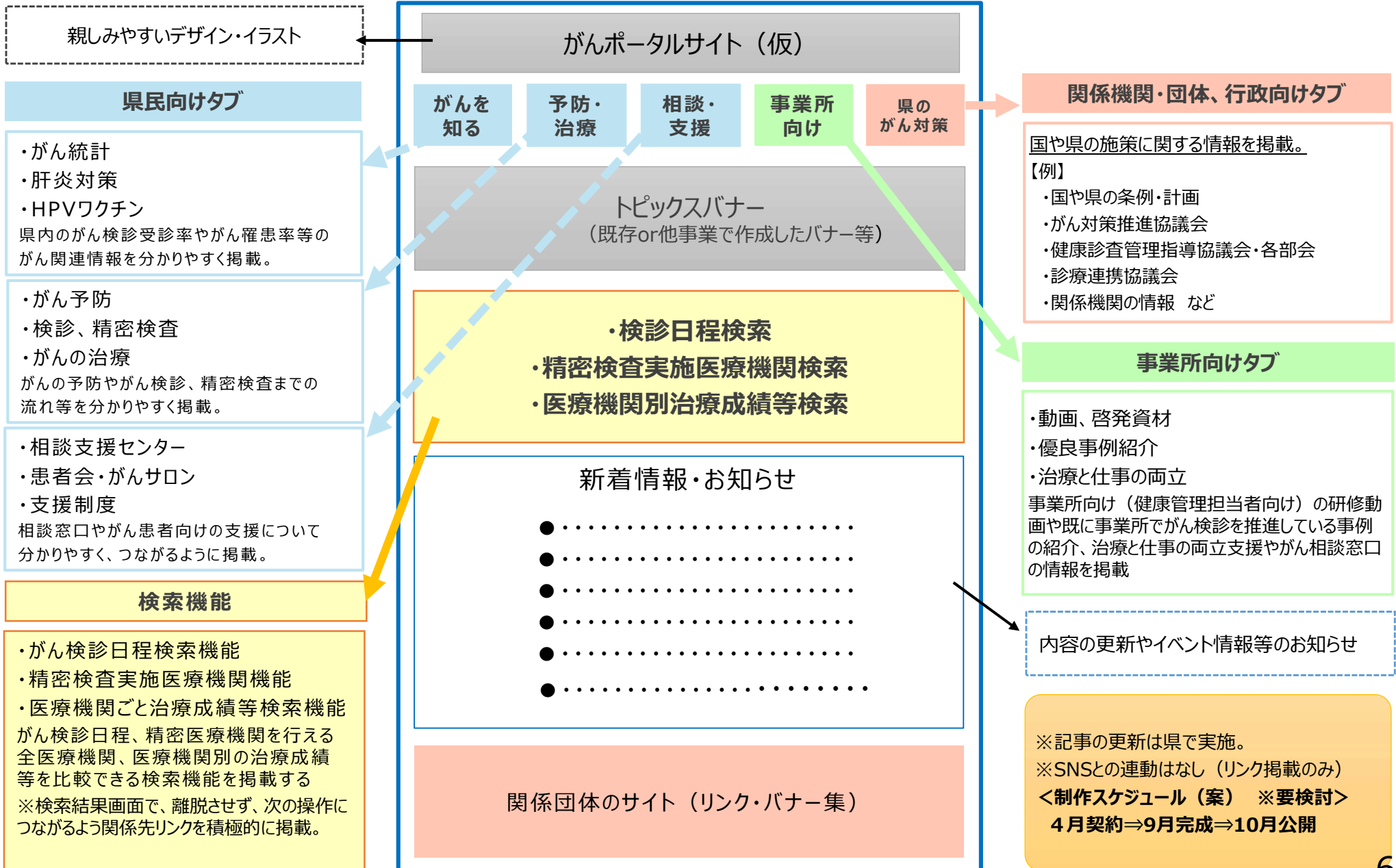
- 「緩和ケア病棟のある病院リストは助かるが、結局それぞれの施設に問い合わせるしかないので、一気に経費までの情報がわかるといい」

⑥病院の設備に関する情報（2件） 「各病院の院内Wi-fiの有無」

まとめ：「病院ごとのQIの見える化の要望」にかかわると考えられる情報やリソース

- 治療の選択にかかわる情報として、病院ごとに実施可能な治療・症例数・治療成績、がん種別の実施可能な治療法・実績、専門病院や受け入れ状況に関するニーズがあると考えられた
- 治療以外のケアや病院設備に関する情報として、治療の副作用／晩期合併症のフォローアップが可能な病院、緩和ケアを受けられる病院や具体的なケア内容、病院の設備に関するニーズがあると考えられた
- 自由記述には「各県ごとの」「病院一覧」「病院リスト」「各病院の」等の記述が見受けられ、各地域別・病院別のQIを一覧で確認できるリソースのニーズがあると考えられた

がんポータルサイト トップページ（案）



親しみやすいデザイン・イラスト

県民向けタブ

- ・がん統計
- ・肝炎対策
- ・HPVワクチン

県内のがん検診受診率やがん罹患率等のがん関連情報を分かりやすく掲載。

- ・がん予防
- ・検診、精密検査
- ・がんの治療

がんの予防やがん検診、精密検査までの流れ等を分かりやすく掲載。

- ・相談支援センター
- ・患者会・がんサロン
- ・支援制度

相談窓口やがん患者向けの支援について分かりやすく、つながるように掲載。

検索機能

- ・がん検診日程検索機能
- ・精密検査実施医療機関機能
- ・医療機関ごと治療成績等検索機能

がん検診日程、精密医療機関を行える全医療機関、医療機関別の治療成績等を比較できる検索機能を掲載する
※検索結果画面で、離脱させず、次の操作につながるよう関係先リンクを積極的に掲載。

がんポータルサイト（仮）

- がんを知る
- 予防・治療
- 相談・支援
- 事業所向け
- 県のがん対策

トピックスバナー
(既存or他事業で作成したバナー等)

- ・検診日程検索
- ・精密検査実施医療機関検索
- ・医療機関別治療成績等検索

新着情報・お知らせ

-
-
-
-
-
-

関係団体のサイト（リンク・バナー集）

関係機関・団体、行政向けタブ

国や県の施策に関する情報を掲載。
【例】

- ・国や県の条例・計画
- ・がん対策推進協議会
- ・健康診査管理指導協議会・各分会
- ・診療連携協議会
- ・関係機関の情報 など

事業所向けタブ

- ・動画、啓発資料
- ・優良事例紹介
- ・治療と仕事の両立

事業所向け（健康管理担当者向け）の研修動画や既に事業所でがん検診を推進している事例の紹介、治療と仕事の両立支援やがん相談窓口の情報を掲載

内容の更新やイベント情報等のお知らせ

※記事の更新は県で実施。
※SNSとの連動はなし（リンク掲載のみ）
<制作スケジュール（案） ※要検討>
4月契約⇒9月完成⇒10月公開

高知県がんポータルサイトへのがん治療成績等の掲載について

現状と効果

- 国の調査（がん情報サービス利用者向けアンケート等）によると、がん患者及びその家族等ががん治療病院選択にあたって、「がんの治療件数」「がんの治療成績」等の情報が求められており、国では、今後公表の了承が得られた拠点病院等を対象に、治療件数等の情報を一覧化するウェブサイトを作成する対応を示している。
- 県においても、県民が適切な診断や治療にスムーズにアクセスできる体制を確保するため、国の取り組みに先駆けて、医療機関毎の診療状況や治療成績等を検索可能な「がんポータルサイト」を構築する。⇒**がんと診断された方が安心して治療を受けられる環境を整備する**

サイト構築後（佐賀県サイトを参考）

検索機能イメージ(案)

知りたい情報を検索する。

医療機関名をクリックすると病院HPへ遷移。

【大阪市北部】の検索結果

病院によって、提出する報告書の内容が異なります。未報告や該当項目がなければ、検索結果では「-」ハイフン表示にさせていただきます。

検索した内容を開く

検索条件を変更する

項目名	済生会中津病院	北野病院	住友病院	大阪市立総合医療センター	桜川クリニック	十三市民病院
悪性腫瘍の手術件数	836	1196	694	1379	894	116
体外照射	295	438	212	726	204	0
薬物療法のべ患者数	1476	2482	824	3703	2690	141

検索条件を変更する

掲載データ(案)

(1) がんの診療状況 (がんの治療を行っている医療機関 73施設)

- 手術療法 (30医療機関)、化学療法 (49医療機関)、放射線療法 (6 医療機関)、免疫療法 (12医療機関)、セカンドオピニオン (17医療機関) の治療別、がんの部位別に掲載

(2) 診療実績 (がん診療連携拠点病院等 6施設)

《現況報告より》

①患者数等

- ・年間入院患者数、年間新入院がん患者数、年間新入院患者の割合
- ・年間外来がん患者ののべ数 ・年間院内がん患者数

②診療実績

- 手術療法 (がん部位別)
 - ・悪性腫瘍の手術件数
 - ・がん部位別手術件数
- 放射線治療
 - ・放射線治療のべ患者数
 - ・治療別患者数
- 薬物療法
 - ・がんに係る薬物療法年間のべ患者数
 - ・うち外来化学療法のべ患者数
- 緩和ケア
 - ・緩和ケアチームの新規介入患者数
 - ・身体症状の緩和を行った症例数
 - ・精神症状の緩和を行った症例

(3) 生存率

がん情報サービス「院内がん登録生存率集計」のリンクを掲載

がん診療連携拠点病院等への依頼文書

6 高健対第 号
令和 年 月 日

令和 年 月 日

(がん診療連携拠点病院等 病院長) 様
(高知県がん診療連携推進病院長) 様

書き分け

高知県健康政策部健康対策課長 様

高知県健康政策部健康対策課長

(施設名)

(代表者職氏名)

高知県がんポータルサイトへのがん治療成績等の掲載について

平素は、本県のがん医療の推進につきまして、格別のご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、厚生労働科学研究の報告書及びがん情報サービス利用者向けアンケート調査によると、がん患者などから診療実績等を一元化して公表することが求められていることから、国では、今後拠点病院等を対象に、治療件数等の情報を一覧化するウェブサイトを作成する対応が示されています。

本県におきましても、第4期高知県がん対策推進計画において、各医療機関で提供可能ながん治療等の内容について定期的に調査を行い、ウェブサイト等で公表することを施策に掲げており、県民が適切な診断や治療にスムーズにアクセスできる体制の確保が必要と考えることから、国の取組みに先駆けて、各拠点病院毎の診療状況や治療成績等を、令和7年度作成予定の「高知県がんポータルサイト」に掲載することを検討しております。

また、診療体制や治療成績等の情報を一元化することは、県内のがん診療連携拠点病院等の機能強化にも繋がり、地域全体の医療水準の向上にも寄与できると考えております。

つきましては、添付書類をご確認いただき、本取組みへのご支援・ご協力の可否につきまして、ご回答をお願いいたします。

なお、本取組の方向性や協力依頼については、第42回高知県がん対策推進協議会(令和7年2月17日開催)において説明のうえ承認を得ています。

お忙しいところ大変恐縮ではございますが、以上につきどうぞよろしくお願いいたします。

記

- 1 回答期限 令和7年 月 日 ()
- 2 提出方法 電子メールまたは郵送で下記担当までご提出ください。
- 3 添付書類 (1) 「高知県がんポータルサイトへのがん治療成績等の掲載」への協力の承諾書
(2) 説明資料「がんポータルサイトへのがん治療成績等の掲載について」

「高知県がんポータルサイトへのがん治療成績等の掲載」への協力の承諾書

令和7年 月 日付け6高健対第 号で依頼のありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

(該当項目に○をご記載ください)

- 1 承諾する
- 2 承諾しない

【承諾しない理由等】

承諾しない理由やどういった点が改善されると協力ができるか等をご記載ください。